

第10章 水 防 訓 練

1 県

県は、指定水防管理団体の行う水防訓練に協力し、水防工法解説、指導を行い、水防訓練が効果あるよう努めなければならない。

2 指定水防管理団体

(1) 水防訓練実施要領

指定水防管理団体の水防訓練は、次の項目について十分訓練を行うよう水防計画に定めるものとし、一般住民の参加を求め、水防思想の高揚に努めるものとする。

なお、水防訓練の実施に当たっては、県の水防担当職員の指導を努めて受けること。

- イ 観 測 (水位、潮位、雨量、風速)
- ロ 通 報 (水防団、消防団の動員、居住者の応援)
- ハ 輸 送 (資材、器材、人員)
- ニ 工 法 (各水防工法)
- ホ 水門(樋門) (角落としの操作)
- ヘ 避難、立退 (危険区域居住者の避難)

(2) 水防訓練の実施時期

イ 指定水防管理団体の水防訓練は、最も効果のある時期を選び、毎年1回以上単独又は関係団体との連合あるいは合同で実施するものとする。

ロ 非指定の水防管理団体においても前項に準じて実施するよう努めるものとする。